

富山県歯科口腔保健対策の現状 (平成30年度)

富山県厚生部健康課
富山県口腔保健支援センター

富山県歯科口腔保健対策の現状（平成30年度）

1 歯科疾患の予防【乳幼児・学齢期】

【現状と課題】

- 乳幼児・学齢期におけるむし歯は減少もフッ化物洗口の実施施設は市町村間で格差
- 生涯を通じた歯と口の健康のため、永久歯のむし歯予防をさらに推進する必要

【主な施策】

- 親と子のよい歯のコンクール及び三世代お口さわやか大賞表彰
家族ぐるみの歯科疾患の予防に関する取組みを促すため、3歳児を中心に家族を表彰
- むし歯予防パーフェクト作戦事業
市町村と連携し、以下の予防事業を実施
 - ・乳歯むし歯予防事業
 - ・保育所・幼稚園永久歯むし歯予防事業
 - ・小中学校永久歯むし歯予防事業
 - ・妊婦歯科検診事業
- フッ化物洗口導入促進事業
むし歯予防効果の高いフッ化物洗口について、新たな施設で導入する市町村への補助



目標(富山県)	ベース ライン値	中間評価	全国現状値	計画 目標値	達成 状況
3歳児でむし歯のない者の増加	77.8% (H23)	81.8% (H27)	83.0% (H27)	90%	B
3歳児でむし歯がない者の割合が80%以上である市町村の増加	8 (H24)	14 (H27)	—	全市町村	B
12歳児でむし歯のない者の増加	53.2% (H24)	66.6% (H28)	64.5% (H28)	80%	A
12歳児の一人平均むし歯数が1.0本未満である市町村の増加	8 (H24)	12 (H28)	—	全市町村	B
フッ化物洗口を実施している学校・施設の増加	33.8% (H23)	32.6% (H27)	—	50%	D

富山県歯科口腔保健対策の現状（平成30年度）

1 歯科疾患の予防【成人・高齢期】

【現状と課題】

- 成人・高齢期における進行した歯周炎を有する者は増加傾向であり、全国と比べて高い
- 歯周病の進行は歯の喪失につながるため、口腔機能の維持からも歯周病対策は重要
- 初期の歯周病は自覚症状がないため、成人期からの取り組みを重点的に進める必要

【主な施策】

- 働く世代の歯周病予防事業（H28～H30）
企業等への出張歯科健診モデル事業等を実施



唾液検査



咀嚼機能検査



保健指導を実施

目標(富山県)	ベース ライン値	中間評価	全国現状値	計画 目標値	達成状況
20歳代における進行した歯周炎を有する者の減少	37.0% (H23)	43.3% (H29)	27.1% (H26)	25%	D
40歳代における進行した歯周炎を有する者の減少	52.1% (H23)	61.5% (H29)	44.7% (H28)	40%	D
60歳代における進行した歯周炎を有する者の減少	65.1% (H23)	73.8% (H29)	59.4% (H28)	60%	D
70歳代における進行した歯周炎を有する者の減少	65.4% (H23)	75.5% (H29)	54.4% (H28)	60%	D
過去1年間に歯科健康診査や専門家による口腔ケアを受診した者の増加	48.9% (H25)	49.0% (H28)	52.9% (H28)	65%	B

富山県歯科口腔保健対策の現状（平成30年度）

2 口腔機能の獲得・維持・向上

【現状と課題】

- 8020達成者は僅かに減少し、全国と比べて低い状況
- 健康で質の高い生活を営む上で口腔機能は重要な役割を果たしていることから、口腔機能に関する取り組みの推進が必要

【主な事業】

- いい歯カムカムすこやか大賞
生涯にわたる歯と口の健康づくりの取り組みを促すため、8020達成者の表彰
- とやまけんこう ウェル噛む 推進事業(H26～H27)
 - ・イベント会場での「昆布」を使ったかむ機能の啓発
 - ・識者によるセミナーの開催
- 在宅歯科医療研修事業
要介護者等の口腔機能(摂食、咀嚼、嚥下等)の低下等に対応できる歯科専門職の育成



目標(富山県)	ベース ライン値	中間評価	全国現状値	計画 目標値	達成状況	
60歳以上における咀嚼良好者の増加	—	—	65.1% (H28)	66.6% (H27)	80%	E
40歳(35～44歳)で喪失歯のない者の増加	59.2%	(H23)	66.8% (H29)	73.4% (H28)	70%	B
60歳(55～64歳)で24本以上の自分の歯を有する者の増加	59.7%	(H23)	67.2% (H29)	74.4% (H28)	70%	B
80歳(75～84歳)で20本以上の自分の歯を有する者の増加	45.5%	(H23)	44.9% (H29)	51.2% (H28)	50%	D

富山県歯科口腔保健対策の現状（平成30年度）

3 要介護者、障害（児）者等への歯科口腔保健の推進

【現状と課題】

- 障害（児）者入所施設、介護保険施設での歯科検診実施率は増加傾向
- 多様化する歯科保健医療ニーズに対応できる歯科専門職が必要
- 歯と口の健康づくり推進のため、入所施設の職員等の口腔ケアの提供の促進が必要

【主な事業】

- 在宅歯科医療研修事業（再掲）
- 障害者歯科医療技術者養成事業
障害者等の状態に応じた対応ができる技術を有した歯科専門職を育成するため障害者施設での実習を実施
- 福祉施設等歯科保健医療推進事業
介護保険施設等に歯科衛生士等を派遣し、施設入所者等への指導などを実施
- 口腔ケア普及啓発事業
要介護状態の方への口腔ケア推進のため、ケアマネジャー等の支援者への研修を実施

目標（富山県）	ベース ライン値	中間評価	全国現状値	計画 目標値	達成 状況
障害（児）者入所施設での定期的な歯科検診実施率の増加	70.0%	(H24) 80.6%	(H28) 62.9%	(H28) 90%	B
介護老人福祉施設及び介護老人保健施設での定期的な歯科検診実施率の増加	25.0%	(H24) 34.8%	(H28) 19.0%	(H28) 50%	B
在宅療養支援歯科診療所数の増加	11	(H24) 71	(H29) —	増加	B

富山県歯科口腔保健対策の現状（平成30年度）

4 災害発生時の歯科保健医療対策

- 歯科医師会との災害発生時の協力協定の締結（H26年12月）
- 災害時歯科医療救護対応マニュアルの策定
- 歯科専門職研修
災害発生時における歯科保健医療に関する研修

5 歯科口腔保健を支える環境の整備

【県民の機運醸成】

- 親と子のよい歯のコンクール及び三世代お口さわやか大賞表彰（再掲）
- いい歯カムカムすこやか大賞（再掲）

【歯科専門職等への技術研修】

- 歯科保健関係者研修
- 歯科専門職研修（再掲）
歯科医師等に対する技術研修
- 歯科衛生士等臨床定着支援事業
歯科衛生士、歯科技工士を対象とした最新の技術研修

【歯科口腔保健を推進する体制整備】

- 富山県口腔保健支援センターの設置
H25年11月 県厚生部健康課内に設置し、県内口腔保健対策の推進
- 歯科保健医療対策会議
県民歯と口の健康プランの進捗状況等の検討

